

目 次

第2版はしがき

はしがき

凡 例

序 章 なぜ、今、ジェンダー法なのか ————— Ⅰ

- Ⅰ ジェンダー法とジェンダーの視点 Ⅰ
- Ⅱ 出発点としてのジェンダー論から性の多様性へ 3
- Ⅲ ジェンダー論と法学・社会科学 8

第0章 ジェンダー法を学ぶ基礎として ————— 14

- Ⅰ 憲法の基本 14
- Ⅱ 民法の基本 21
- Ⅲ 刑法の基本 28
- Ⅳ 社会法の基本 33
- Ⅴ 国際法の基本 41

第1章 日本における性差別 ————— 49

▶近現代日本の法体制に取り込まれた性差別

- Ⅰ 明治憲法体制における性差別 49
- Ⅱ 戦後改革 57

第2章 諸外国における性差別▶その歴史と現状 ————— 61

- Ⅰ ヨーロッパ／アメリカ 61
- Ⅱ 西アジア 64
- Ⅲ 南アジア 66
- Ⅳ 東アジア—中国を中心に 69

第3章 フェミニズム法学の展開▶源流を学び未来を探る — 73

- I フェミニズムの歴史と法 73
- II フェミニズムおよびフェミニズム法学の諸潮流 77
- III 近時の動向と課題 82

第4章 教 育 ————— 85

▶学校教育にみるジェンダー・バイアスとその克服

- I わが国における女子教育政策 85
- II 教育政策にみるジェンダー・バイアス 88
- III 「隠れたカリキュラム」にみるジェンダー・バイアス 92
- IV ジェンダー・バイアスの克服と学校教育 93

第5章 家族と平等▶現行法に潜む「家」的思想 ————— 97

- I 婚姻の成立に関わる平等性 97
- II 夫婦同氏の原則の平等性 101
- III 親子関係における平等性 104

第6章 家族と自由▶家族の保護と家族法 ————— 110

- I 標準的家族モデルと家族法 110
- II 「家族」の保護が意味したこと 112
- III 今後の方向性 115

第7章 不法行為・契約▶失われたものの「値段」の男女差 — 122

- I 失われたものの「値段」 122
- II 名誉毀損とプライバシーの侵害 126
- III 「女人禁制」のメンバーシップ 128

第8章 労働 ————— 133

▶平等原則・人格権保障とワーク・ライフ・バランス

- I 性別を理由とする差別的取扱いの禁止 133
- II 雇用形態（契約類型）と均等・均衡待遇原則 135
- III 人格権を保障された就業環境 138
- IV 妊娠・出産，家族的責任等との両立支援—ワーク・ライフ・バランス 141

第9章 社会保障▶家族と個人のはざままで ————— 145

- I 家族（世帯）に対する社会保障 145
- II 家族モデルの変化と社会保障 147
- III 社会保障制度の未来 156

第10章 レイプ・強制わいせつ ————— 159

▶110年ぶりの刑法改正と先進国の趨勢

- I 110年ぶりに改正された日本の性犯罪規定 159
- II 改正後の無罪判決に象徴される刑事裁判上の課題 162
- III 国際水準に適合する性犯罪処罰の実現へ 166

第11章 セクシュアル・ハラスメント ————— 169

▶職場，大学における性的人格権の侵害と労働環境， 教育研究環境配慮義務

- I セクシュアル・ハラスメントとは？ 169
- II 労働環境におけるセクシュアル・ハラスメント 172
- III 教育研究環境におけるセクシュアル・ハラスメント 175
- IV 関連問題 177

第12章 ドメスティック・バイオレンス, ストーカー — 180

▶家庭内における暴力

- I ドメスティック・バイオレンス 180
- II 児童虐待 184
- III 高齢者虐待 187
- IV ストーカー 188

第13章 リプロダクション・セクシュアリティ ——— 191

▶産む／産まないの権利・性的自己決定

- I リプロダクションとは 191
- II 産まない権利 195
- III 産む権利 200
- IV 性の権利（性的自己決定権／セクシュアル・ライツ） 202

第14章 性表現▶ポルノグラフィはジェンダーの問題か ——— 207

- I 性的に露骨な表現, 「わいせつ」, 「ポルノグラフィ」 207
- II ポルノグラフィは性的支配従属構造を体現する性差別か 209
- III あらゆるチャイルド・ポルノグラフィは子どもに対する性的虐待か 212
- IV 表現の不自由 215

第15章 政治・行政▶政策決定過程における男女平等 ——— 218

- I 日本の政治・行政領域における女性の参画状況 218
- II 積極的な格差是正措置の導入 223
- III 実質的な男女同権を目指して 229

第16章 司 法▶犯罪発生から犯罪者の処遇まで ——— 232

- I 背 景 232
- II 刑事司法手続に携わる人々 233
- III 犯罪被害者とジェンダー 239

IV 犯罪加害者とジェンダー	243
----------------	-----

第17章 男性についてのジェンダー法 ————— 246

▶弱き者，汝の名はさて誰なのか

I 形式的平等—男性を不利益に扱う法規定・法制度	246
II 実質的平等—特にワーク・ライフ・バランス	251
III 被害者としての男性	252

第18章 ジェンダー法学の応用▶差別を捉える視点 ——— 256

I 視座の設定	256
II 個別の問題(1)—嫡出でない子に対する差別	258
III 個別の問題(2)—その他の領域	261

判例索引

事項索引